【音楽科の目標】
第１　目　標
　表現及び鑑賞の幅広い活動を通して，音楽を愛好する心情を育てるとともに，
音楽に対する感性を豊かにし，音楽活動の基礎的な能力を伸ばし，音楽文化についての理解を深め，豊かな情操を養う。

【第２学年及び第３学年】
１　目　標
(1)　音楽活動の楽しさを体験することを通して，音や音楽への興味・関心を高め，
音楽によって生活を明るく豊かなものにし，生涯にわたって音楽に親しんでいく
態度を育てる。
(2)　多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り，表現の技能を伸ばし，創意工夫して表現
する能力を高める。
(3)　多様な音楽に対する理解を深め，幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

学期	月	題材	ねらい	時数	共通事項		主な教材		A　表現								B鑑賞			評価規準				備考
					「A表現」「B鑑賞」の指導を通して次の事項を指導する。		A表現：表現教材は次に示すもの	B鑑賞：	（1）歌唱			（2）器楽			（3）創作					音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力	
					ア 音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受すること。	イ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて，音楽活動を通して理解すること。	ア 我が国及び諸外国の様々な音楽のうち，指導のねらいに適切で，生徒の意欲を高め親しみのもてるものであること， イ 歌唱教材には，次の観点から取り上げたものを含めること。 （ア）我が国で長く歌われ親しまれている歌曲のうち，我が国の自然や四季の美しさを味わえるもの又は我が国の文化や日本語のもつ美しさを味わえるもの （イ）民謡，長唄などの我が国の伝統的な歌唱のうち，地域や学校，生徒の実態を考慮して，伝統的な声の特徴を感じ取れるもの	鑑賞教材は，我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽のうち，指導のねらいに適切なものを取り扱う。	ア 歌詞の内容や曲想を味わい，曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと。	イ 曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して，それらを生かして歌うこと。	ウ 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して，表現を工夫しながら合わせて歌うこと。	ア 曲想を味わい，曲にふさわしい表現を工夫して演奏すること。	イ 楽器の特徴を理解し，基礎的な奏法を生かして演奏すること。	ウ 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して，表現を工夫して演奏すること。	ア 言葉や音階などの特徴を生かし，表現を工夫して旋律をつくること。	イ 表現したいイメージをもち，音素材の特徴を生かし，反復，変化，対照などの構成や全体のまとまりを工夫しながら音楽をつくること。	ア 音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き，根拠をもって批評するなどして，音楽のよさや美しさを味わうこと。	イ 音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して，鑑賞すること。	ウ 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して，鑑賞すること。	音楽に親しみ，音楽を進んで表現し，鑑賞しようとする。 【第２学年及び第３学年】 音や音楽への興味・関心を高め，音楽によって生活を明るく豊かなものにし，生涯にわたって音楽に親しもうとする。	音や音楽のよさや美しさを感じ取り，それらを音楽活動の中で創意工夫し，生かしている。 【第２学年及び第３学年】 音色，リズム，旋律，和声を含む音と音とのかかわり合い，形式などや速度，強弱の働きを知覚し，音楽のもつ曲想や美しさを感じ取る能力を高め，楽曲への理解を深めながらそれらを生かした表現や鑑賞の工夫をしている。	音楽を表現するための基礎的な技能を身に付けている。 【第２学年及び第３学年】 楽曲構成の豊かさや美しさを感じ取り，曲に対する自分の解釈やイメージを音を通して適切に表現していくため，発声や楽器の扱い，読譜力などの基礎的な表現の技能を伸ばし，創造的に表現する能力を高める。	音楽を楽しく聴取，鑑賞し，そのよさや美しさを味わう。 【第２学年及び第３学年】 楽曲全体の曲想と諸要素の働きによる効果，我が国の音楽及び世界の諸民族の音楽の特徴などを，背景となる文化・歴史や他の芸術などとかかわらせて総合的に理解して聴く。	
後期	10 11	混声合唱の表現を工夫をしよう	・声部の役割を生かし，全体の響きに調和させて合唱する能力を育てる。 ・合唱コンクールへの参加を通して，いろいろな合唱曲に取り組み，表現力と合唱を愛好する心情	6	速度・強弱・テクスチュア		<歌唱曲>各クラス合唱曲「時の旅人」　<鑑賞曲>「即興変奏曲」など		○		○						○			音楽の諸要素の働きにより生まれる曲想に関心をもって歌唱表現しようとしている。	音楽の諸要素の働きにより生まれる曲想を感じ取っている。	音楽の諸要素の働きを理解して，歌唱表現をする技能を身に付けている。	音楽の諸要素の働きを理解して表現の工夫を味わって聴いている。	
	12	世界の諸民族の音楽に親しもう	・１２音からなる音階にはない音程の感覚に気付く。 ・非拍節感のリズムの法則性を感じ取り， ・リズムアンサンブルができる。	2	音色・旋律		<鑑賞曲>ガムランなど											○	○	ガムランの微妙な音程の感覚に気付き興味を示している。	独特なリズムの組み合わせを感じ取り，拍子感や拍節感のある楽曲との違いを感じ取っている。		儀式の中で音楽の果たす役割について気付き，伝統音楽の意味を感じ取っている。	
	12 1	箏の様々な奏法を理解し，「さくらさくら」に親しもう	・音色や旋律などと奏法とのかかわりが生み出す曲想や箏の基礎的な奏法に関心をもち，意欲的に器楽表現や鑑賞をする。 ・様々な奏法による音色や旋律などの変化を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲　　気を感受して，イメージを膨らませながら表現を工夫する。 ・表現したいイメージを膨らませながら，箏の基礎的な奏法を生かして表現する技能を　身に付ける。 ・音色や旋律などの音楽を形づくっている要素，箏の多様な奏法が生み出す曲想を味わって鑑賞する。	4	音色・旋律・強弱・速度		<器楽教材>「さくらさくら」 <鑑賞教材>「日本古謡「さくら」による変奏曲」					○	○				○			音色や旋律などと奏法とのかかわりが生み出す曲想や箏の基礎的な奏法に関心をもち，意欲的に器楽表現や鑑賞をしている。	様々な奏法による音色や旋律などの変化を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受して，イメージを膨らませながら表現を工夫している。	表現したいイメージを膨らませながら，箏の基礎的な奏法を生かして表現する技能を身に付けている。	音色や旋律などの音楽を形づくっている要素，箏の多様な奏法が生み出す曲想を味わって鑑賞している。	
	2 3	卒業式の歌を心をこめて歌おう	・歌詞の意味を理解しながら，心をこめて歌う。	5	音色・速度・強弱		卒業式の歌		○		○									曲想の表現に興味をもって歌唱表現に取り組んでいる。	自分たちのイメージに合わせて，強弱や速度などの表現を工夫している。	感謝の気持ちを込め，思いを表現しようとしている。		